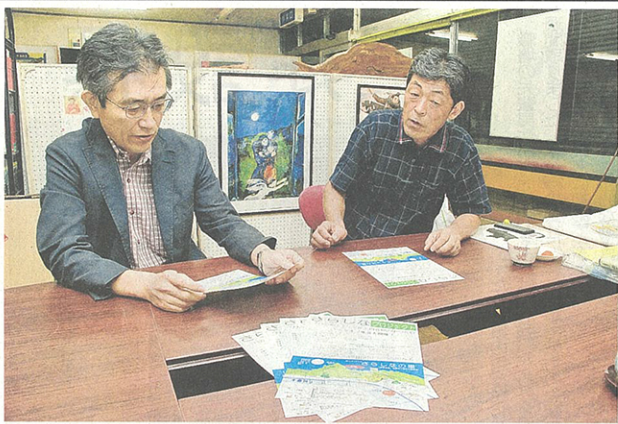


# 歴史・文化薫る街 「さらしな」をPR



飯山昭岡の自然体験施設「なべくろ高原・森の家」は13日、施設近くにある窯で炭焼を体験する催しを開く。里山の伝統に触れてみて。

と参加者を募っている。施設周辺を伐採したコナラやミズナラといった木を窯に立てて入れる工程を体験する。炭焼きは15日まで。

千曲市民ら有志11人が、「田毎の月」として知られた同市八幡の姨捨などの魅力を掘り起し、地域の活性化につなげようとする準備を進めている。姨捨を含む千曲市全域を「さらしな」と捉えてPRする計画で、「さらしなプロジェクト」と名付けて取り組む。11月8日には、講演会やコンサートなどを行う初めてのイベントを、同市上山田温泉の市総合観光会館で開く。

## 千曲市民ら有志プロジェクト

イベントを開くのは住民グループ「さらしなルネサンス」。市内の住民グループの代表や寺の住職らが6月下旬に準備会を設立した。イベントは、さらしなルネサンスの設立総会を兼ねて行う。

当日は午後1時開始。鎌倉大正一(教授が「さらしな姨捨の月が誘うもの」と題し、講演する。竹内教授

## 来月イベント 講演や演奏 屋代高生の報告も

は、平安時代の古今和歌集にある「わが心慰めかねつ更級や姨捨山に照る月を見て」の和歌などについて語る予定だ。

コンサートは地元のアマチュアバンド1組が出演。8月下旬に神戸市で開かれた地域の観光プランを提案する「観光甲子園」の本選に初めて出場した屋代高校(千曲市屋代)天文班が、姨捨の棚田などを取り上げたプランなどを報告する。

さらしなルネサンス準備会の長(団体職員大谷善邦さん)は「さらしな」にまつわる歴史や文化を使って魅力を高めたいと力を込める。今後は「さらしな」にまつわる展覧会や講演会、音楽会などを開いていく構想もある。大谷さんは「さらしな」が浸透して広く知られるようになるのを、商品名に付ける企業が出るのを、経済効果も生まれると期待する。

11月のイベントについて話し合う「さらしなルネサンス」準備会の大谷さん(左)

## 飯山で1:

午9時半から。無料。汚れてもいい服装で、軍手や飲み物を持参する。問い合わせや申し込みは、なべくろ高原・森の家(☎0269・69・0000)へ。



小林古径親しんで  
商店街で作品巡り  
上越あすから花ロード」

新潟県上越市高田地区の商店街「番」は11・13日、恒例の「城下町高田花ロード」が開かれる。16日目の今回は、同市出身の日本画家、小林古径(1900・3・19・57年)の花を題材にした原寸大の複製が展示される。

### アート

◇長野市「河越虎造進展」11日・11月2日(午前9時半)・午後6時(土・日曜) 祝日午前10時(午後5時) 岡田町のキャラ

### イベント

◇長野市「長野松代総合病院 病院祭・医療展 地域を支える未来を支える医療」12日(午前10時)午後4時、松野町の長野松代総合病院(☎026・278・1)へが飛来し見学したり、午前10時・午後2時に倉沢大樹さんによるライブ、同院医師による医療講演、マンモグラフィ、肺がんCTなどの検診(有